



洗足流れの歴史

かつて千束流（洗足流れ）は、川幅 1.8m ほどで千束溜井（現在の洗足池）から発し、呑川へ合流していました。洗足流れ沿いは湿地帯で、古くから水田耕作が行われていたようですが、江戸時代に、六郷用水を開削した幕府代官小泉次太夫吉次によって、さらに開墾が行われたと伝えられています。

1923 年（大正 12 年）の関東大震災後に耕地整理が始まり、洗足流れも現在の位置に改修されました。



内川の歴史

現在の内川は、大森西一丁目の JR 線ガード下から始まり東京湾へ流れ出る約 1.5km の短い川ですが、昔は全長約 5 km の川で、現在の北馬込から中馬込、西馬込、南馬込、中央を流れる主流と、山王四丁目付近から環七通りに沿って流れる支流が集まった川でした。JR 線から上流は、1971 年（昭和 46 年）から 1976 年（昭和 51 年）にかけてほとんどが埋め立てられ、その上が緑道や公園となっています。



桜のプロムナード Sakura Promenade

みち
～今昔の水の流れと桜をめぐる径～



区 HP はコチラ

大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課

〒144-8621 東京都大田区蒲田5丁目 13 番 14 号
TEL : 03-5744-1304 FAX 03-5744-1527

桜のプロムナードとは

桜のプロムナードは、桜と水をテーマとした散策路です。洗足流れや旧内川など、かつて人の暮らしを支えた水の通り道をコースに位置付けています。また、これらの水路跡は現在、緑道として整備され、大田区の主要な桜の見どころとなっています。

今昔の水の通り道を辿りながら、桜の見どころを巡ってみたいかでしょうか。桜の時期はもちろんのこと、一年を通して四季を感じることができます。



案内サインについて

区民や観光で訪れる方々に、桜のプロムナードを快適に散策し、散策路周辺の魅力を知っていただくために案内サインを設置しています。

サインは、拠点となる箇所やルートの分岐点などに設置しており、周辺エリアの総合案内や経路の案内及び地域の歴史・自然環境について解説しています。



1 しみすくぼゆうすい 清水窪湧水 (清水窪弁財天)

千束の谷のがけから湧き出した清水が池となったものです。現在は、僅かに湧き水らしさを留める程度ですが、かつては付近の水田の灌漑用水の源流として広く利用されていました。

清水窪湧水は「東京の名湧水 57 選」に指定されているほか、現在でも洗足池の水源の一つとなっています。（※東京の名湧水 57 選は、飲用に適することを保証するものではありません。）



2 洗足池公園

北千束の清水窪湧水などを主な水源とする都内屈指の広さを有する淡水池のある公園です。江戸時代、歌川広重の名所江戸百景『千束の池袈裟懸松』にも描かれた水辺の景観の面影を今も残しています。また、洗足池公園は平成 31 年 3 月 15 日に東京都指定名勝に指定されました。



洗足池公園

3 洗足流れ

洗足流れは、かつて農業用水として周辺の田畑を潤すために利用された水路でした。現在は散策路として整備され、住民の憩いの場として親しまれています。



洗足流れ (上池台三丁目)

4 馬込桜並木 (旧内川)

馬込の桜並木は、約 90 本の桜が立ち並ぶ 600m ほどの緑道です。桜並木の始まりは 1953 年 (昭和 28 年)、町の有志にご寄付いただいた 100 本の苗木でした。その当時はまだ内川の流路でしたが、埋め立てられ現在のよう姿になりました。



馬込桜並木 (南馬込四丁目)



5 大森ふるさとの浜辺公園

砂浜や干潟を持つ都内では初めての区立海浜公園です。浜辺で磯遊びを楽しんだり、桜や梅に彩られた園内を散策することができます。

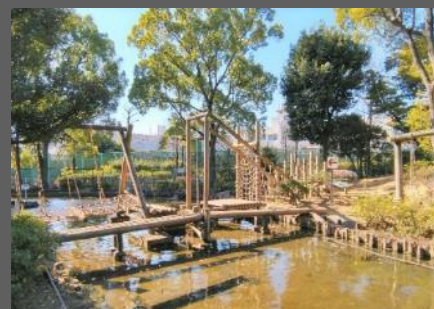


大森ふるさとの浜辺公園

周辺の見どころ案内

平和の森公園

環状七号線の南北に広がる区内最大級の公園です。園内には区内の重要な文化財や史跡を模したフィールドアスレチックコースなどがあります。



平和の森公園フィールドアスレチック

地図の見方

- 桜のプロムナード
- 海辺の散策路
- 海・水路
- - - 迂回路
- ✿ 桜
- ♿ 公衆・公園トイレ
- ★ 総合案内サイン
- 📷 撮影スポット